



## 草刈りの省力化対策

農家数の減少や農家の高齢化に伴い、水路や農道の草刈りやため池の堤体の草刈りなどの作業が困難になっています。対応策としては大型草刈り機の導入や防草シートの布設などが考えられますので紹介いたします。

### 大型機械の導入

茨城県水戸市（島地区農地・水・環境保全会）

比較的広い面積はスライドモアで草刈りをし、スライドモアでは刈れない箇所は人力で草刈りを行うことにより、大幅な草刈り労力の削減が可能になります。



### 草食動物の活用

栃木県鹿沼市(板荷畑つくし美会)、山梨県韮崎市(中谷環境保全会)

全国で中山間地域における耕作放棄地解消にヤギ、ヒツジ、牛などの草食動物が活躍している。

草の処分が不要であり、また、鳥獣害の緩衝地帯に放牧した場合、獣害が減った事例もある。



牛の放牧



ヤギの放牧

### 傾斜法面への小段の設置 長野県上田市（八木沢水土里会）

傾斜のきついため池の堤体などで草刈り作業を行う場合には、転倒などの危険性が高い。法面の途中に小段を設置することで、安全で効率的な草刈り作業が可能になります。



小段の設置風景



設置した小段

### カバープランツや防草シートによる対策 千葉県野田市（関宿地区農地・水・環境保全管理協定）

カバープランツなど特定の植生で被覆することにより、背丈のある雑草の生育防止、土壌侵食防止及び病虫害発生防止になります。防草シートは草刈りがしにくい斜面等への導入に適します。



カバープランツ（芝）